



THE ROTARY CLUB OF NAGANO WEST

長野西ロータリークラブ

例会 毎週金曜日 12:30~13:30 ホテル国際 2 1
事務局 〒380-0838 長野市県町576 ☎026(235)2800 FAX 026(235)0016
e-mail:nwrc1987y@sweet.ocn.ne.jp

会長／竹村 利之 幹事／粕尾 正康 クラブ会報委員長／中野 欣哉
SAA／松本 克幸 副 SAA／高井 亘



第1421回例会 2017年（平成29年）3月3日（金）

人類に奉仕するロータリー Rotary Serving Humanity

会長挨拶

竹村利之会長

イスラームの話(2)『イン・シャ・アッラー』 神様が望むように

日常的に使う言葉として、日本人には中々慣れない言葉ですが、大学内では数時間に一回「イン・シャ・アッラー」が飛び交います。仲間同士でも、他の人の間でも使います。私も時々使いました。「イン・シャ・アッラー」は「神様がそう望めば」という意味ですから、本来は消極的な意味はないはずです。お客様から食事に誘われて「ノー」と言えば大変失礼なので、「神の思し召しがあれば、あなたの食事の誘いを受けます」とも言って、相手を傷受けずにやんわりと断る。お互いを立てる方法です。日本流に直すと「機会があれば」ですかね。そう考えると使い勝手の良い言葉です。しかしヨーロッパ出身の人々はこの言葉を大変嫌がります。「イン・シャ・アッラー」と言うものなら、「せっかく誘っているのに、出かけたいの？ 出かかたくないの？」「あなたの意志はどうなの？」といった相手を不機嫌にさせることがあります。

私の場合も学生に「この作品を持ってきてください。明日までに」と言って「イン・シャ・アッラー」と言われてしまうと、持ってきてくれるか、くれないか不安になり、「ドント、イン・シャ・アッラー」と言って怒ってしまったことがありました。これはイスラーム教の神様中心のお国柄だからこそ使われている言葉なのかもしれません。

3月のお祝い

おめでとうございます

<結婚記念会員>

林 智成さん 井上明彦さん 川橋昭義さん
太田裕志さん 坂本千尋さん 関 幸博さん

<夫人誕生記念>青木容子さん 伊東けさみさん

<会員誕生記念>

青木 宏さん 飯田弘己さん 関 幸博さん



幹事報告

粕尾正康幹事

- ・ 3月5日 RLI 卒業コース：南会長エレクト出席
米山奨学生歓送会：ヨンジャンサントスさん
卒業につき関 幸博カウンセラーと共に出席。
- ・ サントスさんが発起人の SAKURA 体育館建設プロジェクトについて。背景：ネパール大震災何故体育館建設？ SAKURA 体育館の経緯と現状。募金箱を回しますのでご協力お願いします。
- ・ 3月17日は夜間例会 女性オピニオンリーダーとの情報交流例会とワイン会（名刺交換）
藤の間にて18：30～

3 / 10 本日のプログラム

ゲスト卓話 伊澤喜久子さん
「スペシャルオリンピックス—知的障がい者のスポーツ」

ゲスト 樋口敦子さん (蓮香寺住職)

- ・若麻績信昭さん☆①先日の親睦ゴルフ、山本さん、西沢さんらにお手伝い頂き無事終了することができました。②蓮香寺・樋口上人ようこそ。
- ・青木 宏さん☆樋口さんようこそ。昨日はお誕生日おめでとうございました。今日は卓話を楽しみに来ました。私事ではありますが骨折して不自由な生活です。だいぶ経過はいいです。御心配おかけしました。
- ・飯田弘己さん☆大橋先生に大腸の検査をしてもらいました。地主を除き全てOK。ありがとうございました。
- ・村田秀雄さん☆この度の新春親睦ゴルフで、私の腰痛が心配だったので妻を同行させていただきました。妻もゴルフに参加させてもらったのですが、ドラゴン、ニアピンを取り優勝までしてしまい大変恐縮しております。よろしくとの事です。

・合 計 14,000円 ・スヌーピー 4,622円

・累 計 496,154円

3/17夜間例会について 西沢プログラム委員長

この日はワインの試飲会を企画していますので食事はお出ししますが、他のアルコール類は予定していません。ご了承ください。

講師紹介**西沢プログラム委員長**

本日卓話をして頂くのは川中島にあります宗教法人蓮香寺の樋口敦子さんです。長野県青年国際交流機構の会長もされています。サントス君とは非常に親しい間柄でそれもふまえてお越しいただきました。

例 会 案 内

3月17日 女性オピニオンリーダーとの情報交流例会とワイン会

18:30～夜間例会 国際藤の間

3月24日 ゲスト卓話 長野女子高等学校 IACの皆さん

3月31日 会員卓話 坂本 千尋さん

ゲスト卓話 樋口敦子さん**「長野県青年国際交流機構**

(長野県 IYEO) について」



私たち長野県青年国際交流機構（長野県 IYEO）は、元々内閣府（総理府・総務庁）の青年国際交流事業の県の参加者によって組織されている国際交流団体です。現在の天皇陛下ご成婚を記念して始まり、6事業が毎年行われています。私も20年ほど前に「世界青年の船」事業に参加し、12ヶ国の外国青年と一緒に船に乗り、2ヶ月間さまざまな体験をしました。この経験を生かして国際交流活動を今も続けています。

長野県 IYEO の特徴は、他県とは違い、国際交流に興味のある青年や、外国人青年、留学生にも会員になってもらい、一緒に活動していることです。特に、こちら西ロータリーさんがお世話されているネパール人留学生サントス・ヨンジャン君も私たちの会の会員です。彼は、コミュニケーション能力が高く、行動力と責任感があります。彼の提案で現在イングリッシュカフェというイベントを毎月開催し、この3月で30回となります。また、一昨年4月に彼の地元ネパールで大震災があり、私たちは翌月から募金活動をするなど支援してきました。彼の提案で、彼の故郷に避難所を兼ねた体育館を建設する事業が進んでおり、昨年12月には支援イベント「ネパールの夕べ」を開きました。参加者にネパールの震災の状況を伝え、ネパールの文化、料理、音楽などを楽しんでもらいました。こちら西ロータリーの会員のみなさんにもお越しいただき感謝申し上げます。

私たちの活動は、他に内閣府事業に関する事業説明、帰国報告、ホームステイと地元青年との交流を含んだ海外青年の地方プログラムなどの活動、スポーツ交流会、国際交流・協力に関心のある人たちの学びの場ワールドスタディカフェなどを毎年主催しています。他団体への協力として、善光寺花回廊の花キャンパスにも参加しています。いずれの事業も留学生のみなさんに協力、参加してもらい、楽しく充実した活動をしています。

この度は、このような機会をいただき有り難うございました。